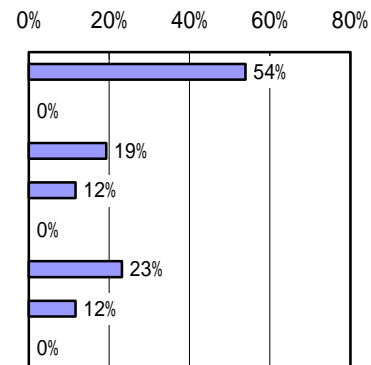


第11回淀川部会 一般意見聴取に関するアンケート 集計結果

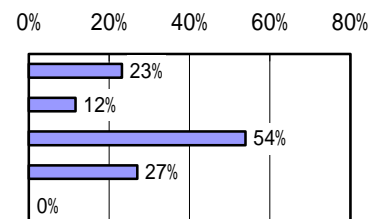
Q1. この会に参加いただいたきっかけ（複数回答あり）

項目	件数	構成比
1 庶務から案内があった	14	53.8%
2 委員から案内された	0	0.0%
3 知人（委員以外）から案内された	5	19.2%
4 行政関係者から案内された	3	11.5%
5 ラジオ	0	0.0%
6 ホームページ	6	23.1%
7 その他	3	11.5%
無回答	0	0.0%
回答者数	26	100.0%



Q2. 今回の参加目的（複数回答あり）

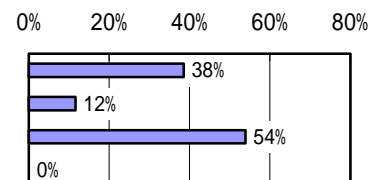
項目	件数	構成比
1 聞いてほしい意見があった	6	23.1%
2 委員に聞きたいことがあった	3	11.5%
3 どのような会なのか興味があった	14	53.8%
4 その他	7	26.9%
無回答	0	0.0%
回答者数	26	100.0%



Q3. 「意見聴取の会」運営に関する意見

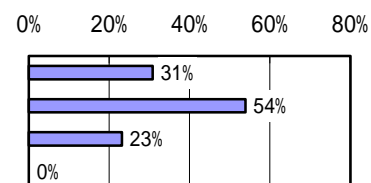
Q3-1. 実施する曜日と時間について（複数回答あり）

項目	件数	構成比
1 平日の昼間がいい	10	38.5%
2 平日の夜がいい	3	11.5%
3 土・日・祝日がいい	14	53.8%
無回答	0	0.0%
回答者数	26	100.0%



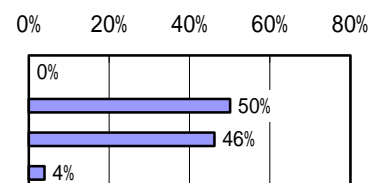
Q3-2. 実施場所について（複数回答あり）

項目	件数	構成比
1 京都市内がいい	8	30.8%
2 大阪市内がいい	14	53.8%
3 その他	6	23.1%
無回答	0	0.0%
回答者数	26	100.0%



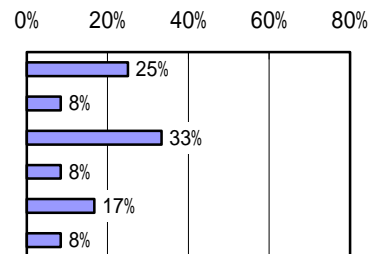
Q3-3. 参加者の発言時間について

項目	件数	構成比
1 満足している	0	0.0%
2 ふつう	13	50.0%
3 不満がある	12	46.2%
無回答	1	3.8%
回答者数	26	100.0%



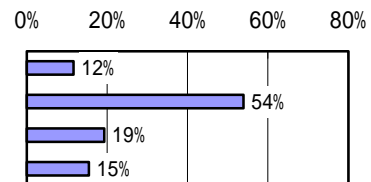
Q 3 - 3 . 適切な発言時間（分） - 不満がある方 -

項目	件数	構成比
10	3	25.0%
10～15	1	8.3%
15	4	33.3%
15～20	1	8.3%
20	2	16.7%
無回答	1	8.3%
回答者数	12	100.0%



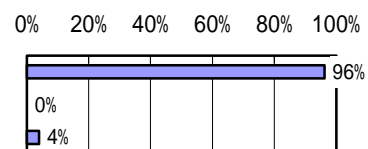
Q 3 - 4 . 今回の運営のやり方について

項目	件数	構成比
1 満足している	3	11.5%
2 ふつう	14	53.8%
3 不満がある	5	19.2%
無回答	4	15.4%
回答者数	26	100.0%



Q 5 . 今後このような会がある場合、参加したいか

項目	件数	構成比
1 是非参加したい	25	96.2%
2 参加したいと思わない	0	0.0%
無回答	1	3.8%
回答者数	26	100.0%



Q 1 この会に参加いただいたきっかけ（その他）

番号	記述意見
1	E-Mail
2	河川管理者
3	琵琶湖部会、猪名川部会にも参加している

Q 2 参加（その他）

番号	記述意見
1	意見を聞きに
2	一般からの意見聴取に興味あり
3	議論の内容を直接聞いたかった
4	所属するグループが意見発表者に指名された。
5	発表者の意見に興味あり
6	淀川や大和川での関連行政（区）と協働でワークショップなど環境問題に取り組んでいる。ここでの議論を把握している必要性が強く、参加した。
7	流域委員会の姿勢が知りたかった。

Q 3 - 2 実施場所について（その他）

番号	記述意見
1	どちらでも良い
2	交通の便の良い所
3	交通の便の良い所
4	淀川について語り易い所
5	淀川に関係ある所ならどこでもOK

Q 3 - 4 今回の運営のやり方について

番号	記述意見
1	Q6に示す通りであり議論の主旨を明確にしてほしい。色々な不確定条件があることはあたり前であり、限られた時間で議論を有意義に進める上では、今日は何についての考え方を討論するかを合意形成を図っていくつもりなのかをはっきりしなければ、中間報告、最終報告へとつな
2	学会とかの発表形式みたいな形で、一般の人にも聞いて頂く形の方がよいのでは
3	これだけ多くの参加者では発言時間、選考のやり方は不満があるが、やむおえないだろう。委員さんの質問に関して単なる質問に終わらず「私はこう思うのだから」という意見が加わると議論は進むように思う。司会は交通整理をしっかりやってほしい。長々としゃべる人について。
4	委員が、意見提出者の考え方を尋ねるといふ今回の目的からみて、今回の形でよいと思います。委員が、多少尋問するような形があったのが気にかかった。
5	委員が意見集の中から（出席している者）選び聴けばよい。意見集の私分に誤字がある。（誤）
6	委員の方の意見がもっと出てほしい。これでは報告書がどうなるか心配！
7	委員の方は自分の意見は控えてほしい。自分の意見を基礎にした質問方法を工夫し発表者の発言を多くするよう誘導すべきである。
8	一般の人の意見を発表する機会を作ってくれた事だけでも評価しています。ただこれが形式的でない事を望みます。24日琵琶湖部会の後で部会長の提案で私共だけでしたが共に飲食を致しました。行政も変わって来たと実感致しました。
9	極めて個人的な意見で恐縮ですが、スクリーンの位置が低すぎて（どうしても一番下にくる）トータル数字の欄が見にくかったのがちょっと残念でした。スクリーンを指し示す赤いポインター（？）をお願いしておけばもっと注目していただけたかなと思っています。
16	昨年12月の琵琶湖部会にも参加しましたが会議の進行の点において部会員の持ち味の違いもあると思いますが、もう少し工夫がいるのではないかと感じました。特に最後の発言者（中村様）については、もう少し早い段階で制限を促すべきでなかったかと思う。
10	参加者は抽選でも構わないが、もっと会の規模を小さくすること。ディスカッションの時間が短すぎる。今後もこういった機会を増やすとともに時間を確保すればよいと考える。
11	川をブロックに細かく分けて、地域に密着した意見聴取の会を開催すべきと思う。
12	多くの方の意見を聞いてそれがどんな形にまとまっていくのか楽しみ。意見の数は流域内人口の何%か、その他の人の意見はどうとりあつかうのか。
13	但し、公聴会方式で行うと形式的にかたくなるので円卓式での意見交換を考えてはどうか。委員は自己の意見を述べるのではなく発言者の意見を引き出す形で質問を出すべき。
14	配席表をつくってほしい。（正しいもの）だれが発言しているのか分かりません。
15	発言者同士の意見交換の場
16	本日の会場の一般席の「イス」がテーブルに付であったのは大変良いと感じて降ります。発表時間が、琵琶湖部会を同じで短かすぎるように思う。時間がないのであれば意見聴取のみの日を別に設けて、少なくとも、1人15分～20分で手配すべきでは。但し、本日の発表者は皆さんなかなかのものでした。発表者に対する質問の仕方、答えかたにもっと、ヤリトリ出来るような工夫が

Q 4 淀川水系の河川整備について、言いたかったこと（言い足りなかったこと）

番号	記述意見
1	20～30年前に計画されたダム等、今建設が必要なのか？河川自然の状況、社会の要求、人口問題、農村の状況、大へん変化しています。総見なおしをする必要があるのではないかな。
2	回答の内容を時間内に発表するのはとても無理ですので、書いたものを読んで頂きたい。回答の私の意見は、一面的であると思うのですが、非常に大事な部分だと思います。「感動」とかという夢のある言葉を入れて頂くと、今後の川に向き合う時にいろんなイメージが湧いてくる気がし、川を扱う仕事に携わる者でもやりがいを感じると思います。（Q4のようなアンケートは非常
3	一般から出てくる意見についてレベルの差を非常に感じた。今回発表された方はそれぞれの意見を持っていると思うが、その他の事柄に対する知見が少なすぎると感じた。利水のテーマ等テーマとして議論すべきことは多く、テーマとしては興味深いので、もっと十分に吟味した上で
4	何とか淀川の水をきれいにしたい。琵琶湖、淀川を生き返したい。植物も動物も。1番悪いのは私達人間なのではないか！！
5	河川整備基本方針はどうなっているのか？
6	個々の水道事業体がいいかげんな水需要予測に基づいて水源開発に奔走するのではなく、各者英知を結集して、現状で対応するすべはないか真げんに検討していただきたいと考えており
7	治水、利水、環境を優先順位をつけて、それに従ってバランスをとりつつ、実施すべきである。
8	治水と利水の論議が、第11回である今回までさほどされてこなかったのではないかと感じました。人口の多い下流域の損害を軽減する為に、人口の少ない上流域に遊水地をするなど、上下流の利益の相互に反する大きな方向を討議してゆくのが大切だと思います。それが、委員会の大き
9	上流・支流では、水量の排除が主となっている。生物と共生出来るように！淀川親水公園計画は水道源水取水口があることなどから、望ましくない。この計画は一部の者のためのもので、自然を破壊させる基だ。上流に住む生物が海と往来するのに汚れた地域を通らねばならない。上流の汚泥防止のための事業は何のためか憤りを感じる。淀川は摂津のためにあるのではない。
10	生き物の移動のためには公園として利用できない地域を流水域から10M、堤防から10M巾に限定しているのはまずいのではないだろうか。最低でも50M（できれば100M）は生き物の聖域をすべきでは？又そのエリアに自生する樹木（例えばヤナギ）は保全すべきでは？
11	生産の場（放流漁業）レジャー利用、農地利用等を極力排除し、自然のある大きな場としての意識付けとあらゆる活動を展開することが必要。
12	提案には理念、希望を述べるものが多く、それを実現化する方法、全体のバランスからの判断など実体的なものがほしかった。
13	南へ渡るツバメのベースキャンプを見守り続けたい。毎年の増減をウォッチングしたいと考えて発表者の内行政側の人意見は、個人なのか、行政としてなのか明確にしてやってもらいたい。
14	川を自然にとの意見が大であるが、都市の中、川の中、村の中、山の中等により、川に対する考え方をかえてもよいのでは。出なければ、整備のしようがないと思う。
15	淀川の河川整備の基本的な考え方として、「人と自然の共生システムの構築」につきると思います。河川の持つ治水・利水・環境・利用の機能をバランスを取りながら整備を進める事が重要で
16	淀川舟運についてほとんど触れることが出来なかった。船を使って川面からの視点を体験することが川を身近に感じる近道。多面的な利用、意味があることをアピールしたかった。歴史的背景
17	淀川水系全体を総合的に見た治水利水（水利権と需要のバランス）環境を考えた流域構想につい

Q 6 淀川水系流域委員会の運営に関する意見

番号	記述意見
1	意見発表会は情報公開も配慮され、良かったと思います。 なかなか資料が目につきません。（委員会の）市役所などにも、おかれているのでしょうか。市や広報にのせることもご検討いた
2	今回のアンケートは流域の人が、こんな委員会をやっているのか。と気付いたばかりかもしれません。スポーツに例えるならウォーミングアップを始めたばかり。これで最後ではなく、部長さん
3	も言われていたが、住民との対話を続けてほしい。投票箱みたいな…。これはあるのですかね。ディスカッションが委員VS河川管理者、委員VS一般に限られているように感じる。委員VS委員、河川管理者VS一般、一般VS一般といった組合せでの仕掛けがあってもいいのではないかと
4	もう少し時間にシビアになって欲しい
5	委員会と意見聴取とは少なくとも午前と午後に分け一日を使うか日を別にするべきではと考える
6	場所は、委員会：京都、淀川部会：京都の場所で満足である。
7	委員会に対する意見を言う時間をとってほしいと思う。
8	委員相互の意見のすり合せレクチャーが不足しているのではないかと。委員個々が自己の思いだけで対応されているような印象が強い。
9	意見聴取：自治体は意見をまとめるのに時間が必要。その余裕あるスケジュールを確保していただきたい。今後の原案作成後の意見聴取の際に留意願いたい。
10	一般の意見聴衆はねばり強く行うべき。又、テーマ別に意見を聴衆していく方が、議論が深まるのではないかと。一定の専門分野で対立する場面では公開討論的な手法で問題点を明らかにしつ
11	河川管理者からの治水対策提供資料に同じスタンスで発言出来る専門家の参加か、委員構成の中に見られない土木工学関係の専門家の参加が必要と考える。
12	開催地や会場設定についてもより参加発言がしやすいようにお願いしたい。
13	広く意見を集め、討議の内容も傍聴させていただける方式はとてもよいことである。時間の制約
14	広報に工夫が欲しい。 住民に広く伝える工夫。 幅広い分野の意見のとりまとめ。（広報）
15	今回、意見発表の機会をいただきありがとうございます。今日の意見聴取の会、先日の琵琶湖部会の夕食会（？）はあまりに唐突で、特に意見発表についてはここ数日準備に追われる毎日でした。十分ご承知のこととは存じますが、一般傍聴者にも各々都合がありますのでご配慮いただき
16	子供に対しての教育が何度か話題にあがったが、一度子供の方から「どんな川を望んでいるか？川でどんなことをしたいか」具体的な意見も聞きたいと思った。素直で率直な意見から、気づか
17	水没する地域に関しましては地域ぐるみの移住は出来ないもののでしょうか？3面コンクリートの川はもういらないと思います。
18	直前に案内を頂くまで、この会があることを知りませんでした。ラジオ・テレビ・新聞などもっと徹底的に報じて下際。水についての啓発になると思います。ご苦労さまです。
19	討議の主旨、目的、検討項目を明確にした上で、議論を開始してもらいたい。シュミレーション手法などの前提条件についての手法等について質疑を加えるのは本会議にとりくむ上での準備、委員の認識（議論に入るまでの意志統一）不足と感じざるを得ない。
20	募集のしめきりにまに合わなかった人（野鳥の会の人）が、1番長く話していた。そんな事でいいのか話したい人は200人以上いたはず。